

Withコロナ時代の 人間と社会の在り方を考える

早稲田大学教授と産学官パートナーによる考察



日時：2023年3月8日（水）15:00～18:25 開場14:30
会場：早稲田キャンパス14号館 201 ※定員100名
アクセス：<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>
開催形態：ハイブリッド形式（ウェビナーによるオンライン同時配信）
参加対象：一般、学外研究者、学生、院生、教職員

司会 堀尾正明アナウンサー

早稲田大学第一文学部哲学科卒



基調講演
15:05～15:45



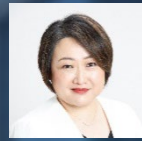
意思決定研究所長
竹村和久 教授

リスク認知とリスクコミュニケーション：
COVID-19問題からの示唆

組織のリモートワーク推進における課題と解決方法を模索する

対談
15:55～16:15

イノベーション研究所員
村瀬俊朗 准教授



ラボラティック株式会社代表取締役
野口麗奈 氏

コロナ禍を超えて、データサイエンスと社会システムの在り方は
どのように変貌を遂げたのか

対談
16:20～16:40

データサイエンス研究所長
後藤正幸 教授



株式会社アゼスト代表取締役
香取徹 氏

新しい社会的養育システムの構築に向けた自治体と研究所との協働

鼎談
17:00～17:20

社会的養育研究所長
上鹿渡和宏 教授



社会的養育研究所客員上級研究員
佐藤まゆみ 教授



山梨県子育て支援局中央児童相談所
安留昭人 氏

Withコロナでの体力の維持・向上：科学的知見の社会応用を考える

対談
17:25～17:45

ヒューマンパフォーマンス研究所長
川上泰雄 教授



日本科学未来館科学コミュニケーター
飯田綱規 氏

登壇者によるフリーディスカッション

17:50～18:20

モデレーター
スポーツ科学学術院
宮地元彦 教授



お申し込みはコチラ（参加無料）

<https://wasedakikou-symp2023.peatix.com>

